

人権に関する県民意識調査 報告書

概要版

平成27年3月

熊本県



人権に関する県民意識調査

● 調査目的

この調査は、県民の人権に関する意識を把握し、今後の人権教育・啓発に関する施策を推進するための基礎資料を得ることを目的としている。

● 調査項目

個別の人権課題については、「熊本県人権教育・啓発基本計画」に記載されている13の重要課題について、調査項目とした。

- (1) 人権全般
- (2) 女性の人権
- (3) 子どもの人権
- (4) 高齢者の人権
- (5) 障がい者の人権
- (6) 同和問題
- (7) 外国人の人権
- (8) 水俣病をめぐる人権
- (9) ハンセン病回復者等の人権
- (10) HIV感染症・難病等をめぐる人権
- (11) 犯罪被害者等の人権
- (12) 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害
- (13) インターネットによる人権侵害
- (14) 様々な人権課題
- (15) 人権に関する啓発活動

● 調査対象及び抽出方法

熊本県内に居住する20歳以上の男女5,000人を対象とし、市町村毎の人口構成比に基づいて、各市町村の住民基本台帳から無作為抽出法により抽出した。

● 調査方法

調査票の配布、回収ともに郵送法とした。

● 調査時期

調査票を平成26年11月14日に発送し、平成27年1月5日までの返送分を集計の対象とした。

● 回収結果

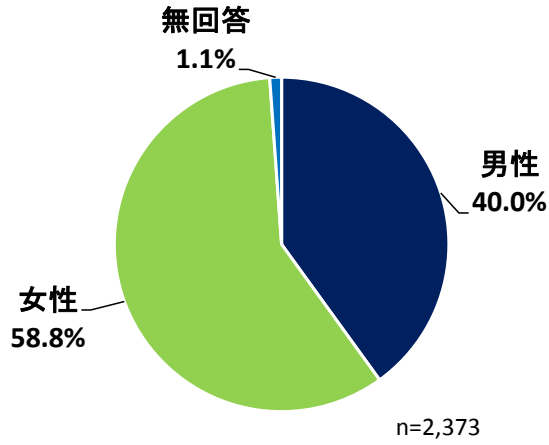
配布総数5,000に対し、有効回収数は2,373（有効回収率は47.5%）であった。

● 報告書の見方

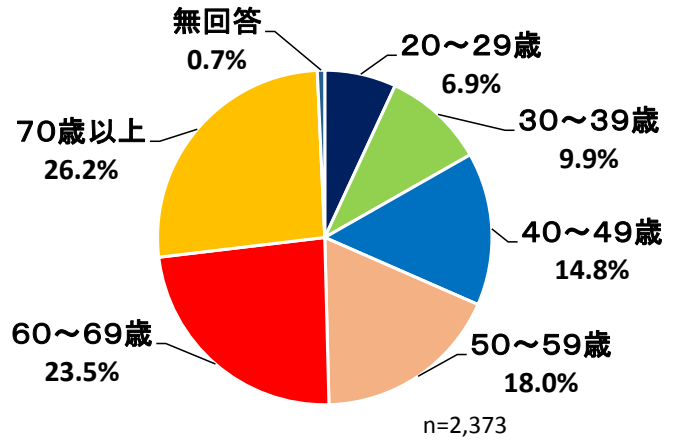
本調査との比較に当たっては、平成24年8月に内閣府が実施した「人権擁護に関する世論調査」（グラフ中「全国調査」と表記）及び平成16年11月に熊本県が実施した「人権に関する県民意識調査」（グラフ中「H16年度調査」と表記）の結果を用いた。

回答者の属性

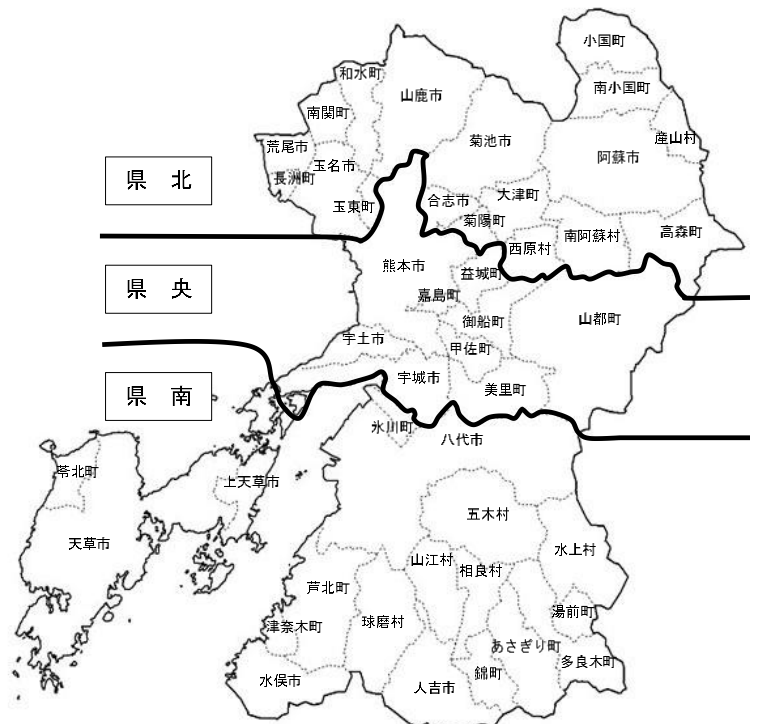
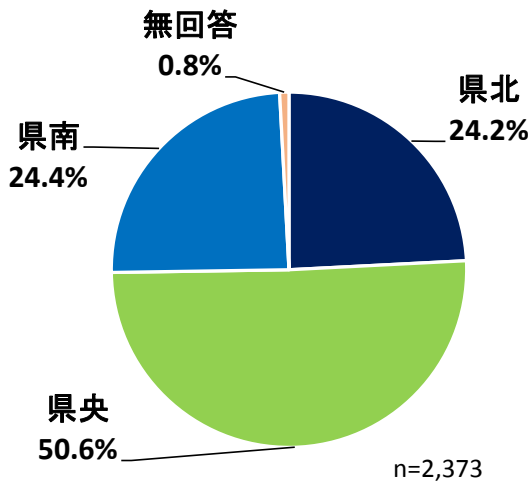
性別



年齢別



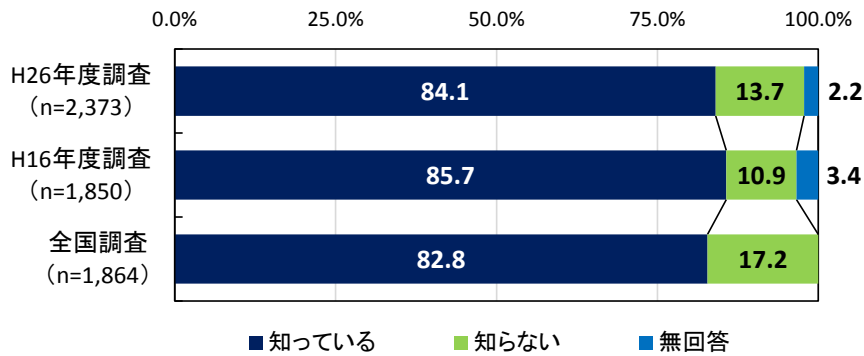
地域別



1 人権全般について

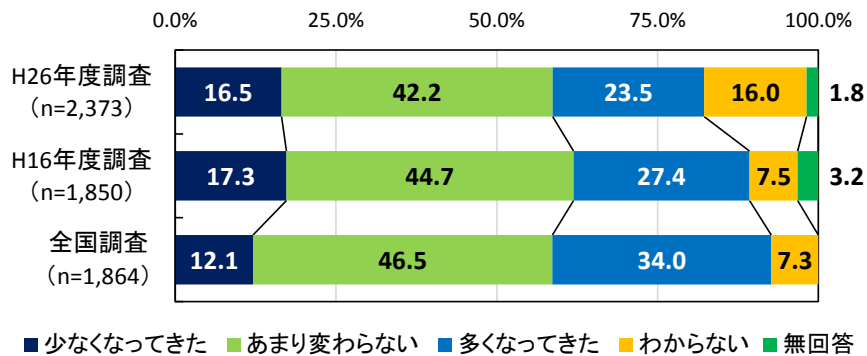
問1

基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、憲法で保障されていることを知っていますか。



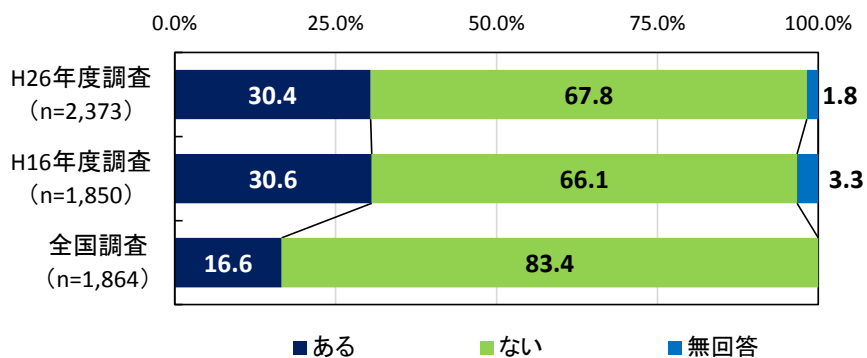
問2

この5～6年の間に、人権が侵害されるようなことは、どうなってきたと思いますか。



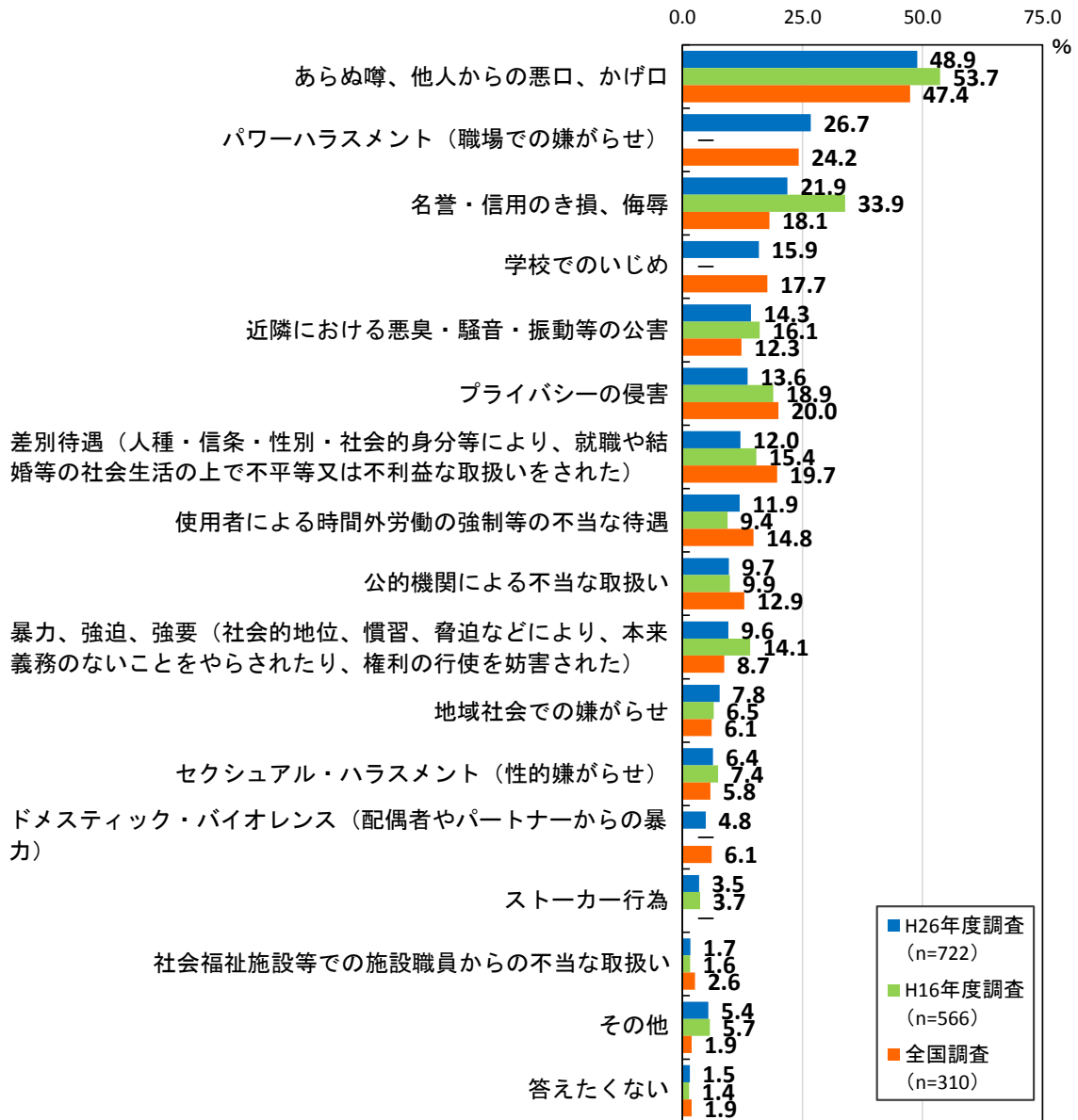
問3

今までに、人権が侵害されたと思ったことがありますか。



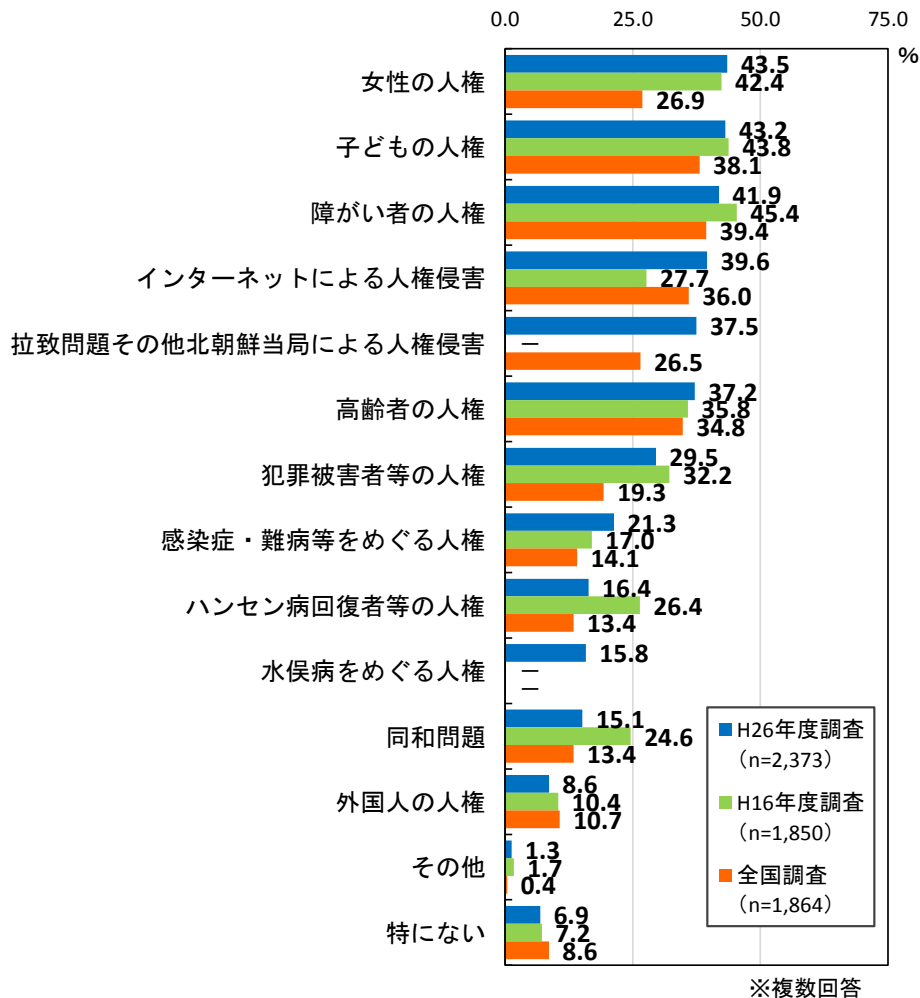
問4 人権が侵害されたのは、どのような場合ですか。

(※問3で「ある」と答えた人のみ回答)



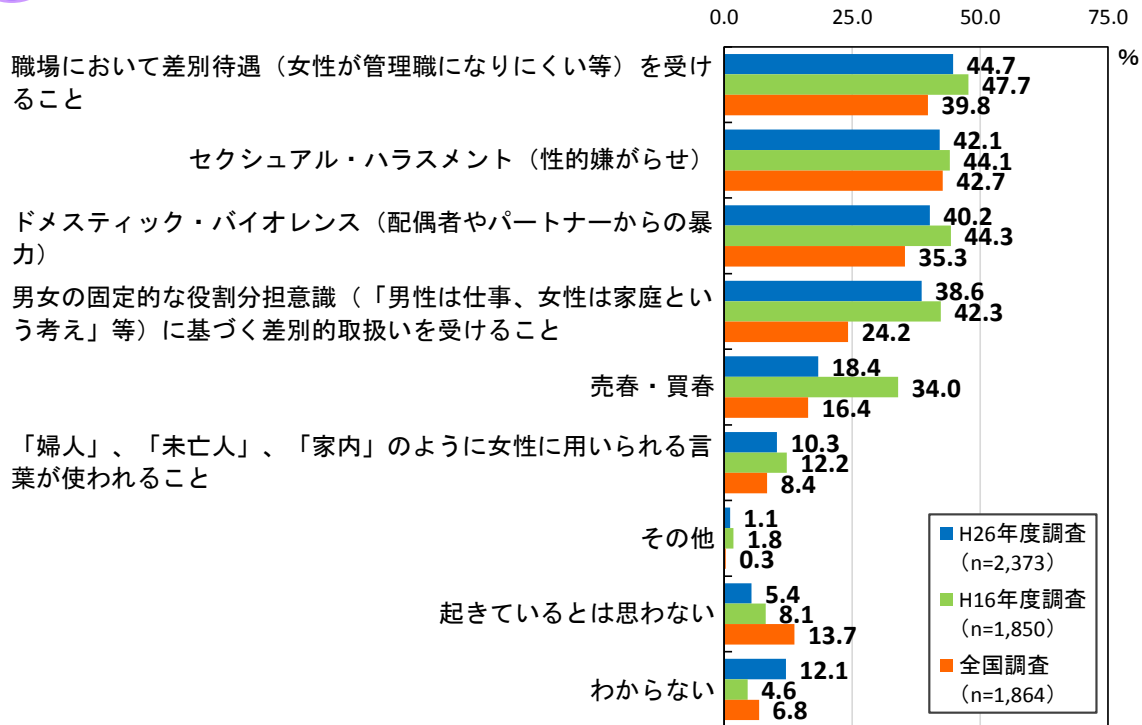
※複数回答

問5 人権課題について、あなたの関心があるものはどれですか。



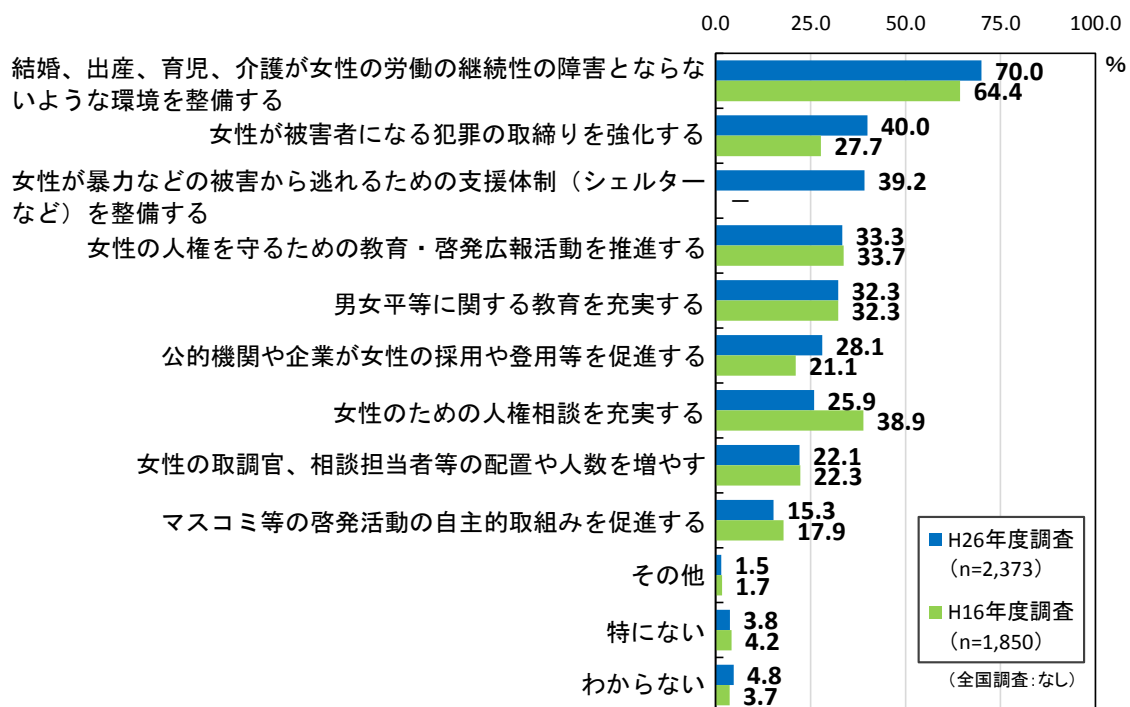
2 女性の人権について

問6 女性に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

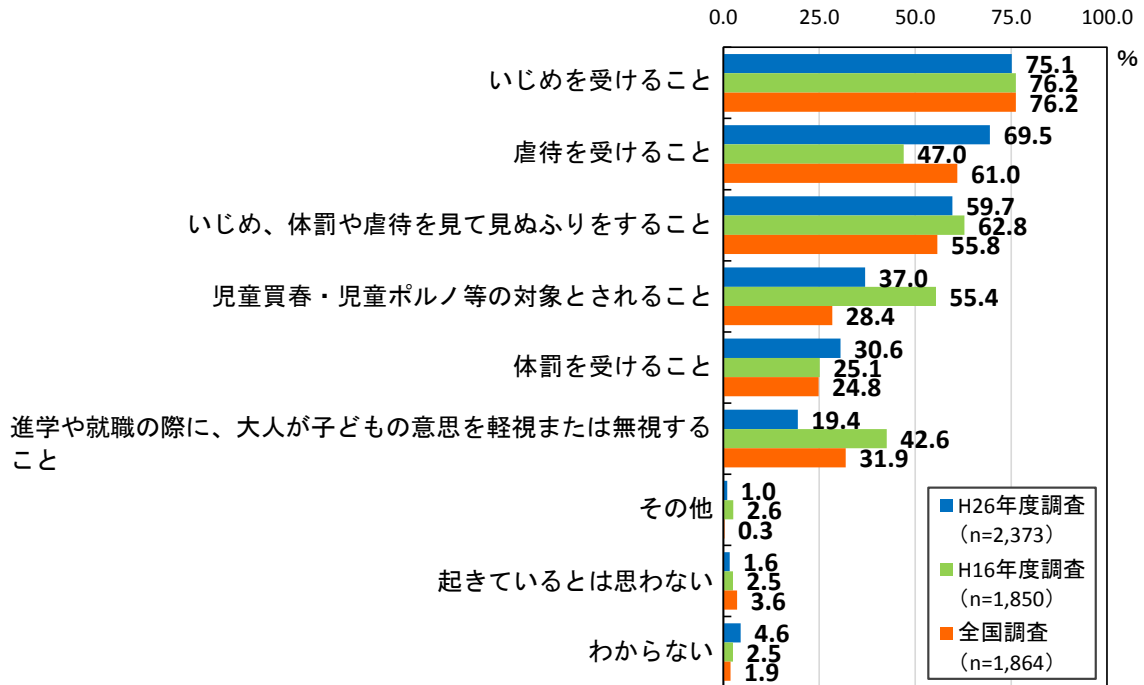
問7 女性の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



※複数回答

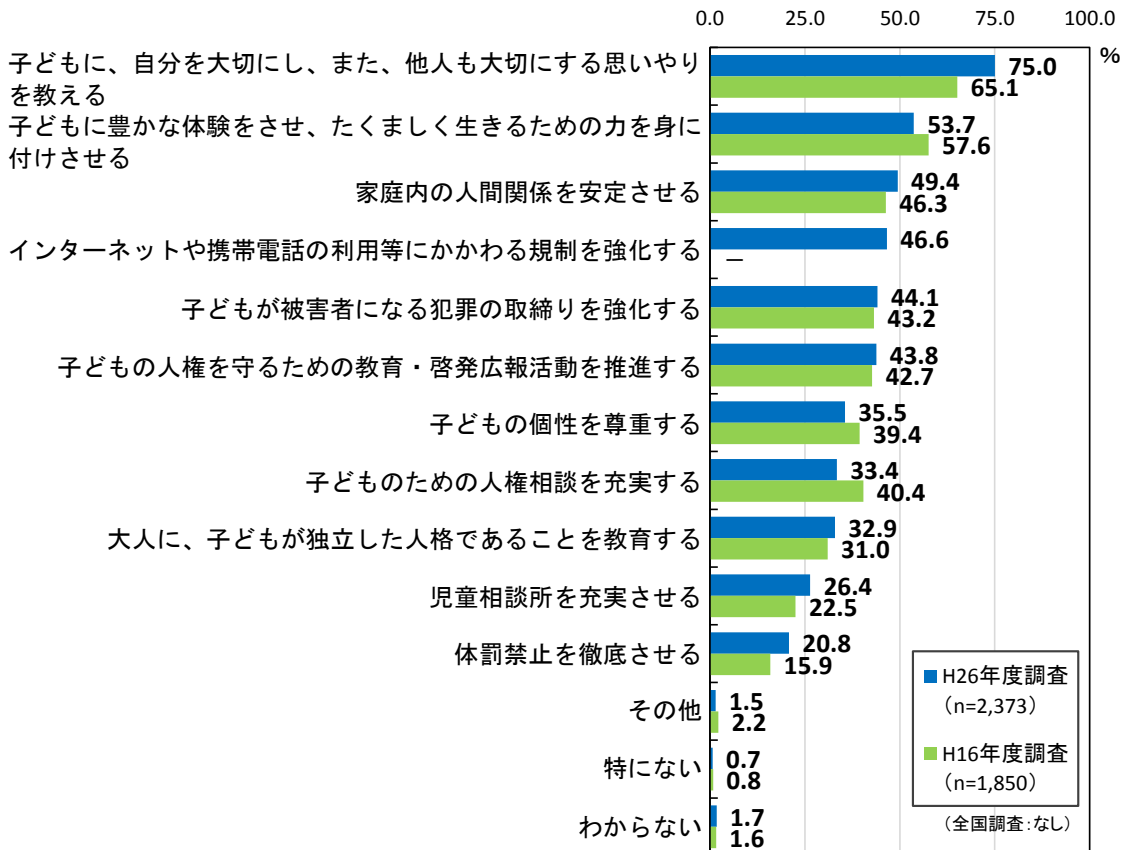
3 子どもの人権について

問8 子どもに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

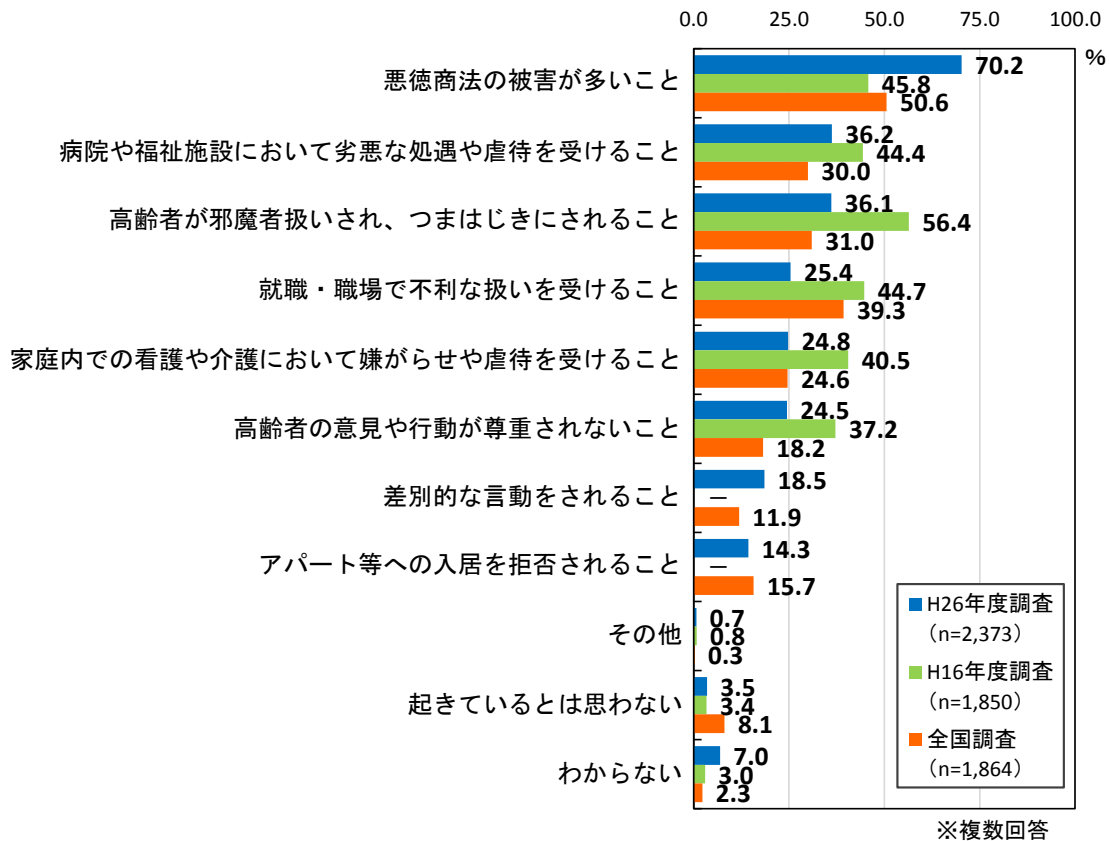
問9 子どもの人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



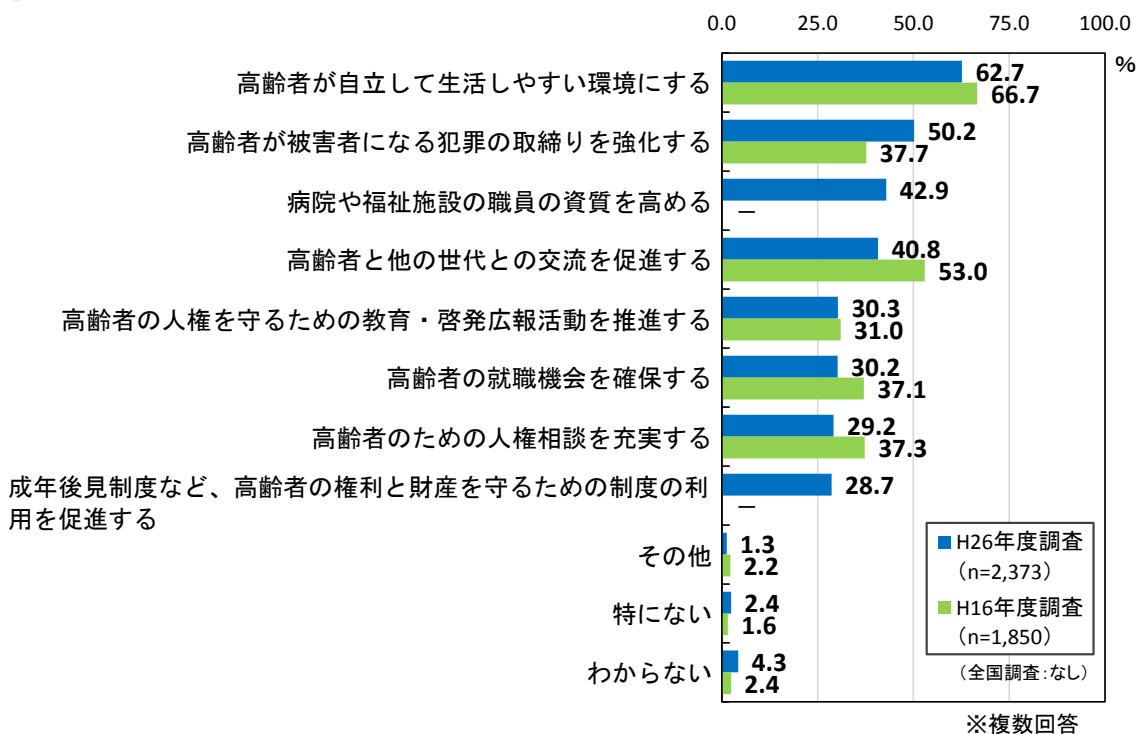
※複数回答

4 高齢者の人権について

問 10 高齢者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

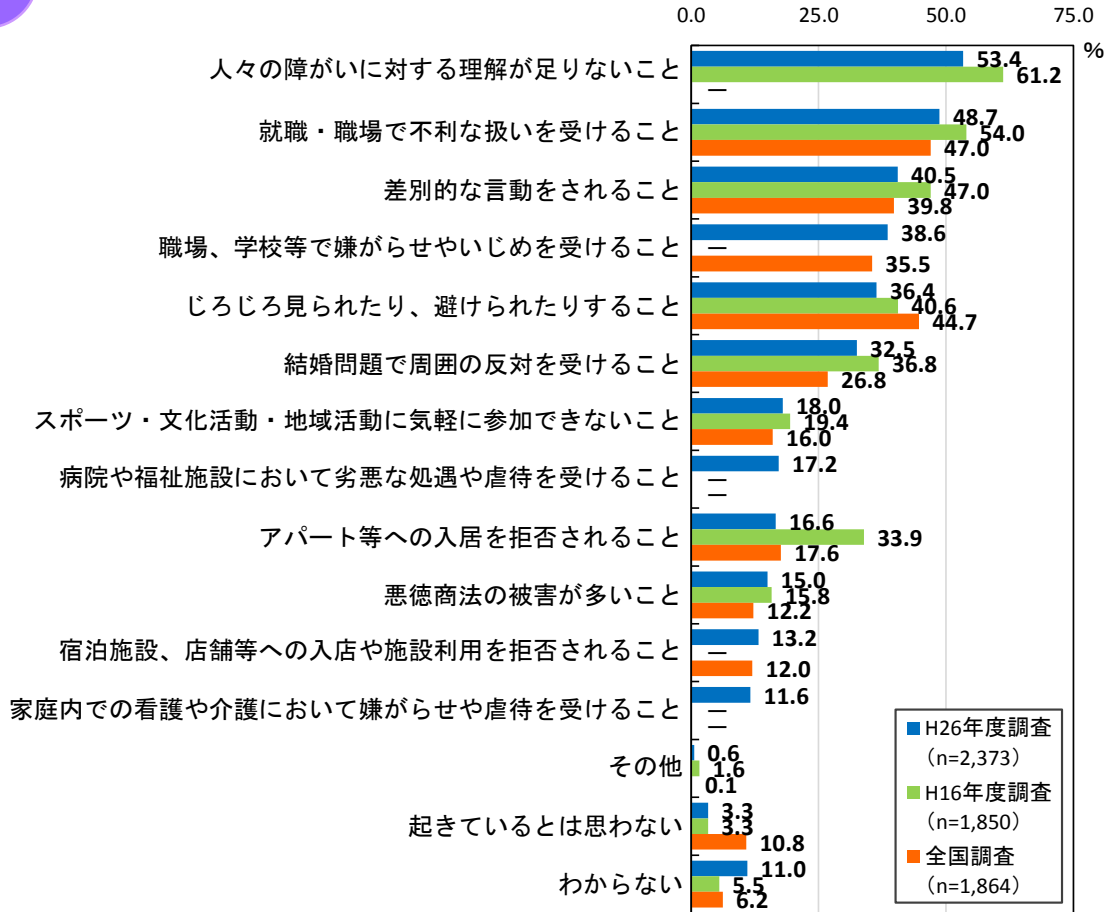


問 11 高齢者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



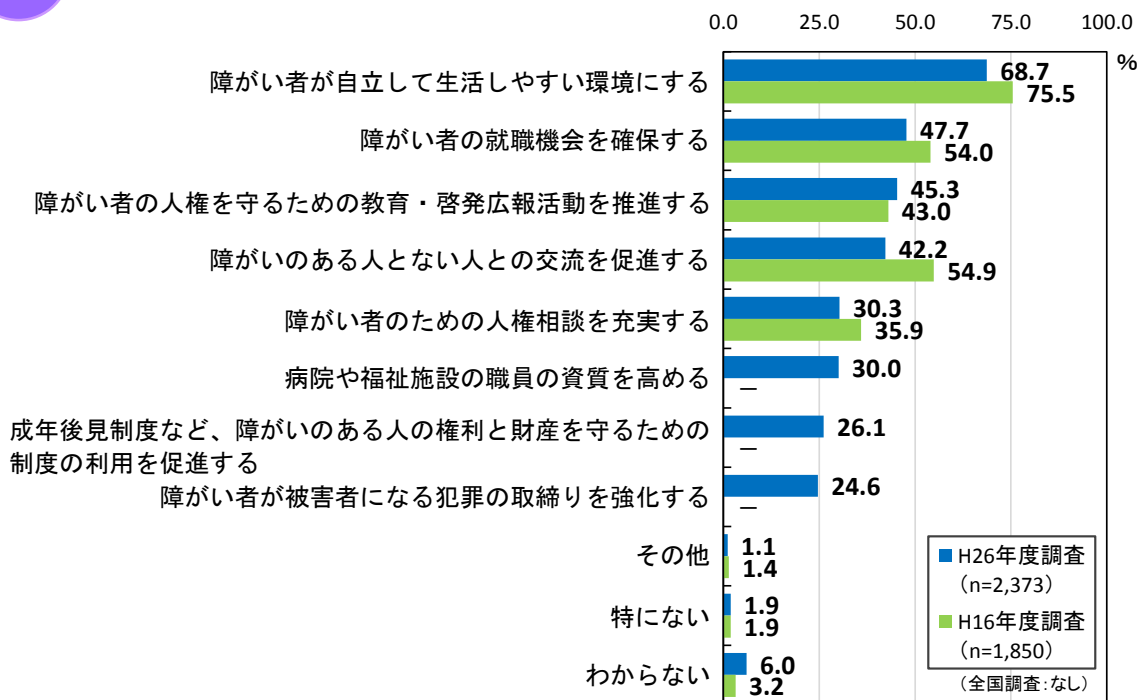
5 障がい者の人権について

問 12 障がい者に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

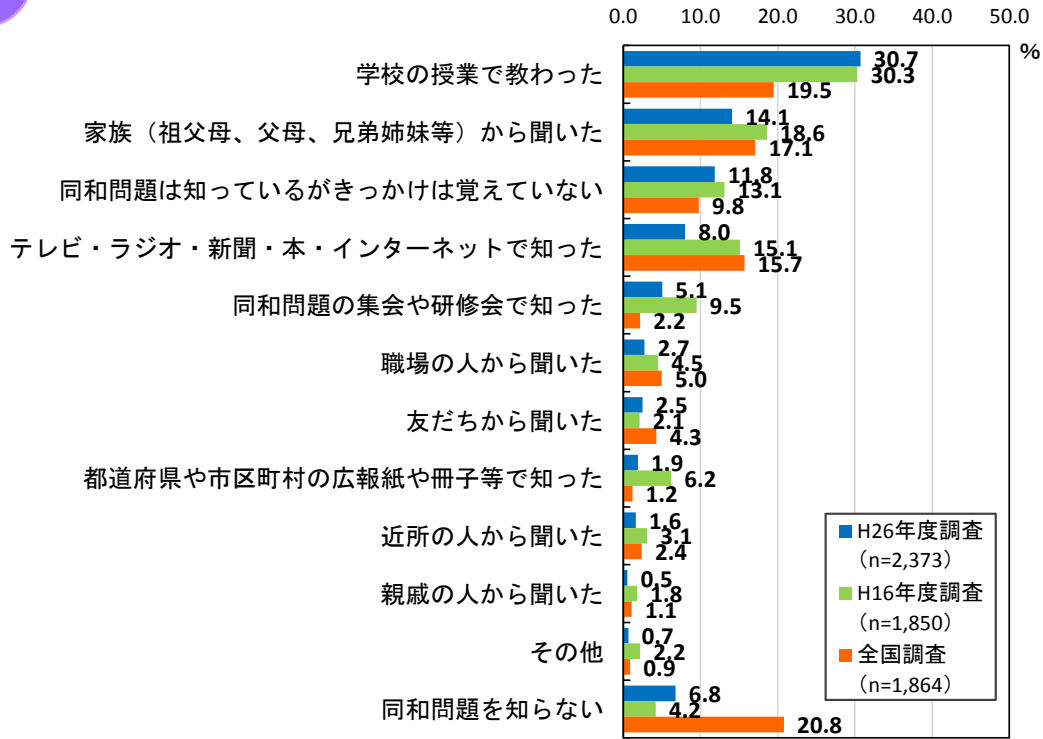
問 13 障がい者の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



※複数回答

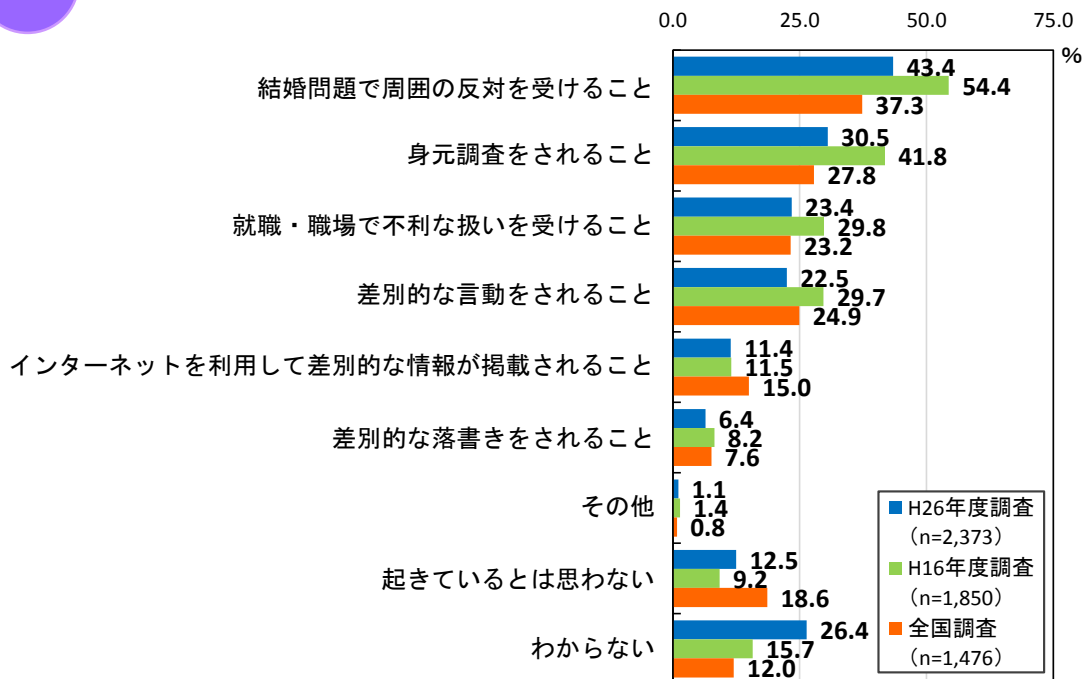
6 同和問題について

問 14 同和問題について、初めて知ったきっかけは、何からですか。



※前回調査（H16年度）では、複数回答を有効としたため、無回答を除く合計は110.7%となったが、今回調査（H26年度）については、複数回答を無効としたため、無回答を除く有効回答の合計は86.4%となる。

問 15 同和問題に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

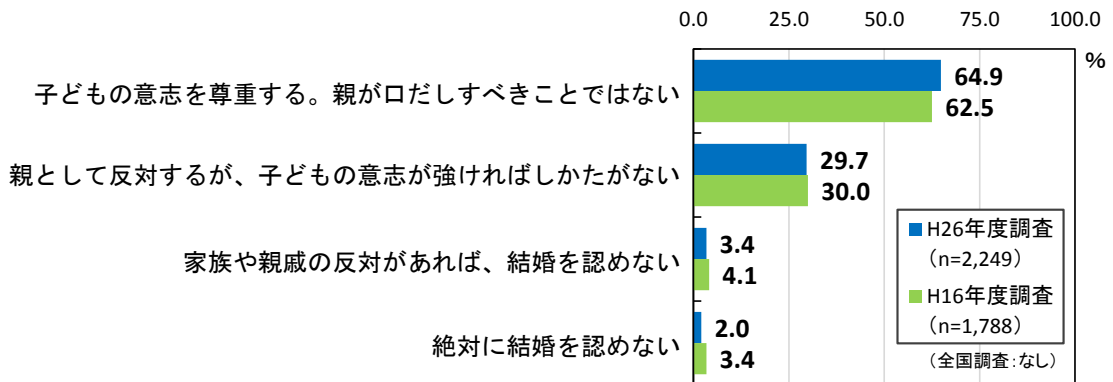


※複数回答

※全国は設問「同和問題を知ったきっかけ」で「同和問題を知らない」と回答した人を除く集計結果。

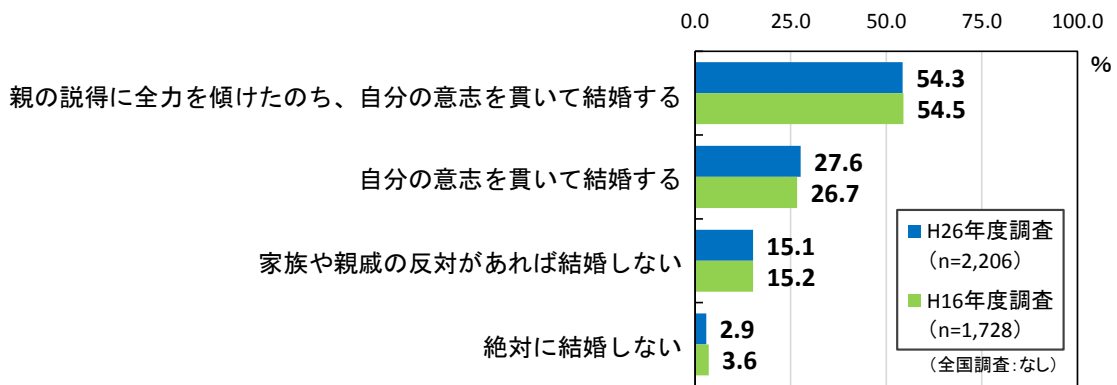
問 16

かりに、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区（歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域をいう。以下同じ。）と呼ばれる地域の人であるとわかった場合、どうしますか。



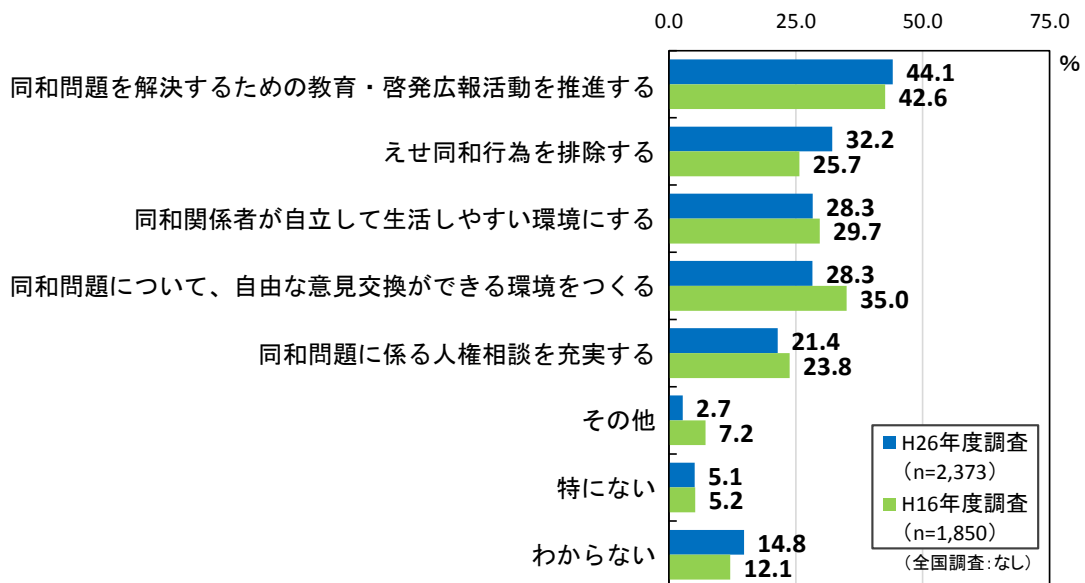
問 17

かりに、あなたが、同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、どうしますか。



問 18

同和問題の解決に必要なことはどのようなことだと思いますか。

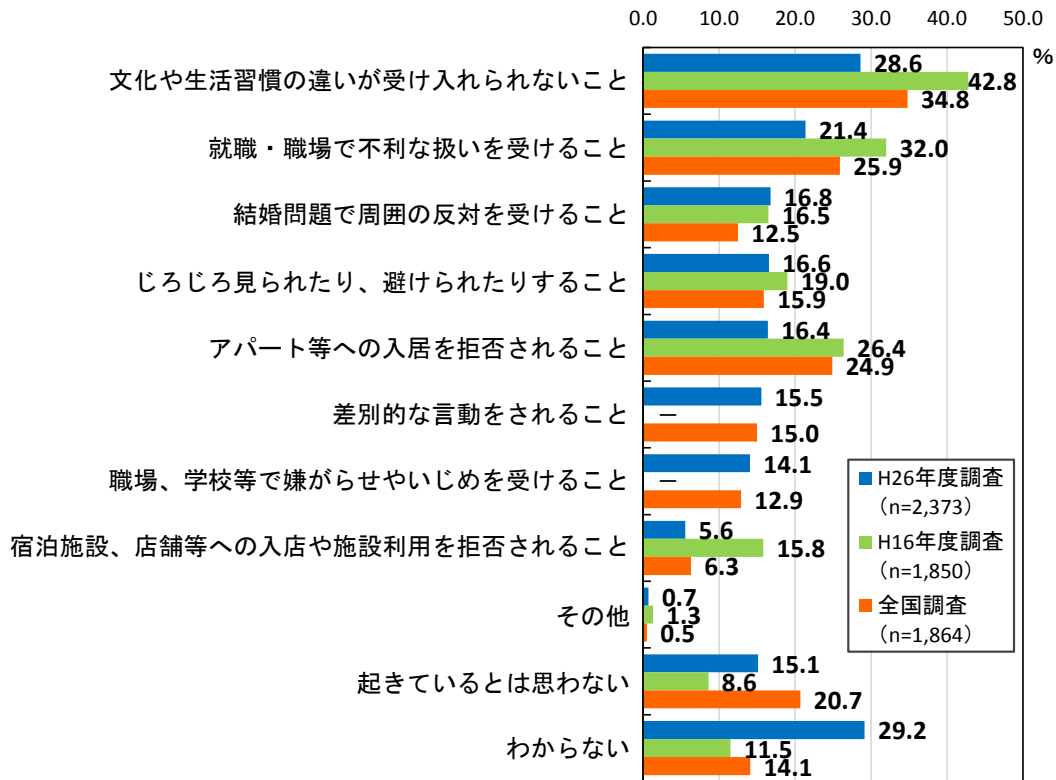


※複数回答

7 外国人の人権について

問 19

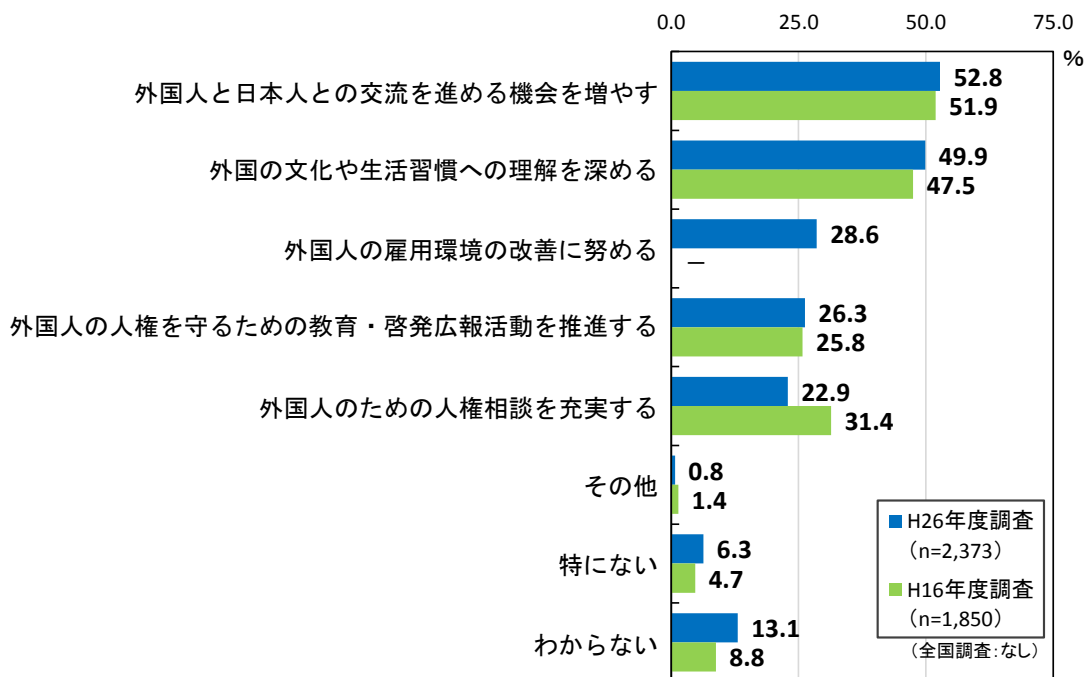
日本に居住している外国人に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

問 20

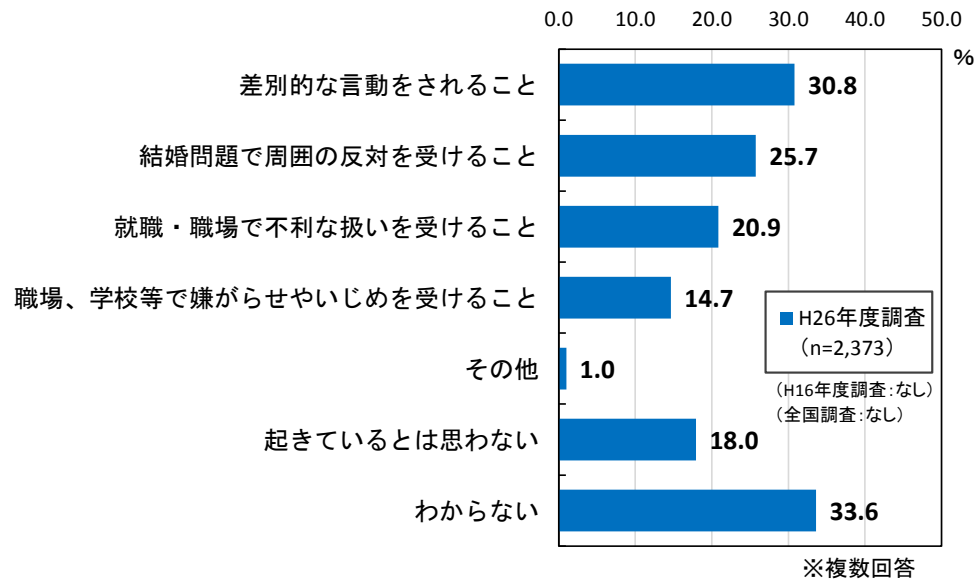
日本に居住する外国人の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



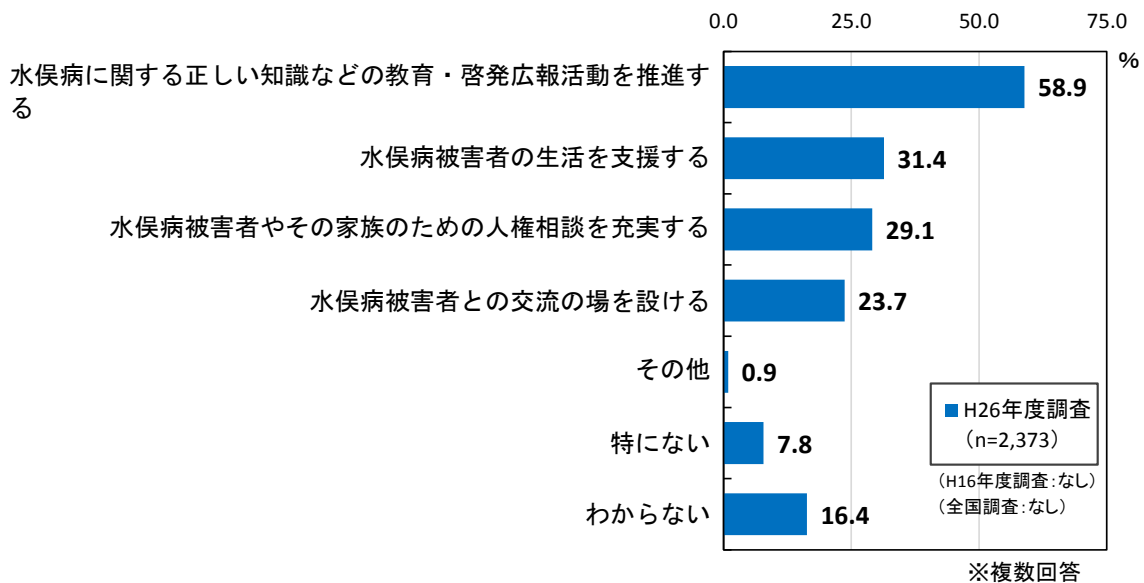
※複数回答

8 水俣病をめぐる人権について

問 21 水俣病に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



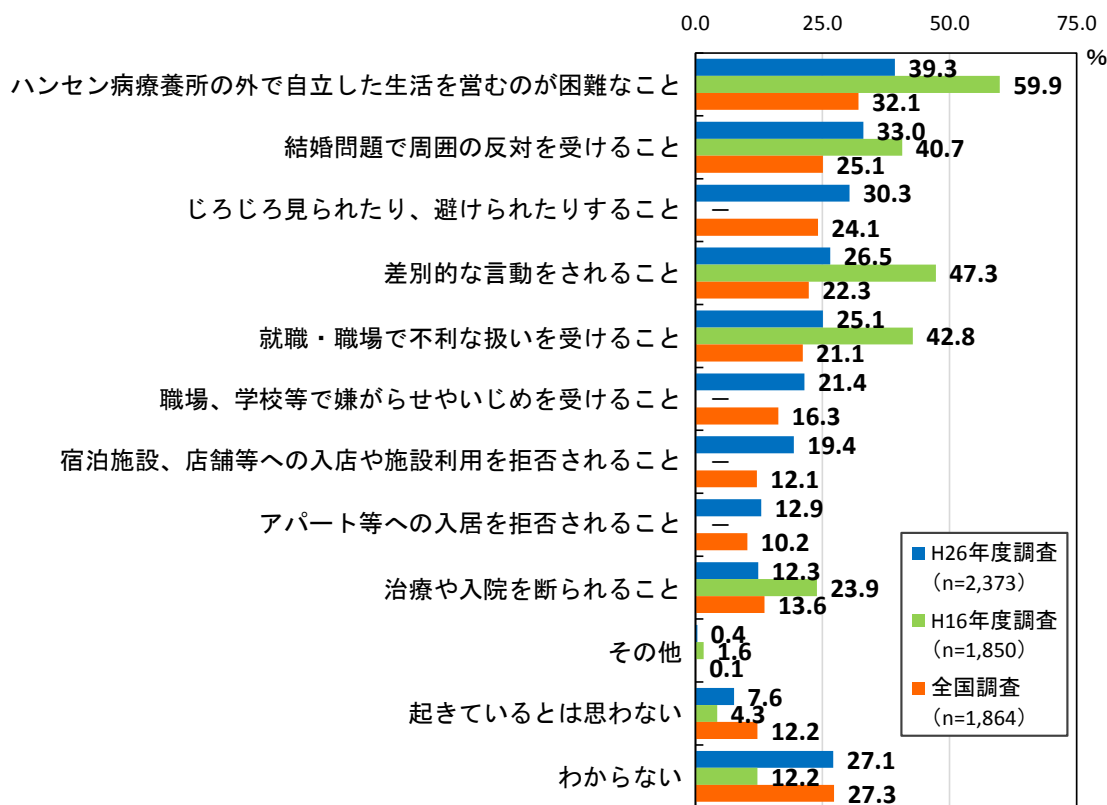
問 22 水俣病をめぐる人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



9 ハンセン病回復者等の人権について

問 23

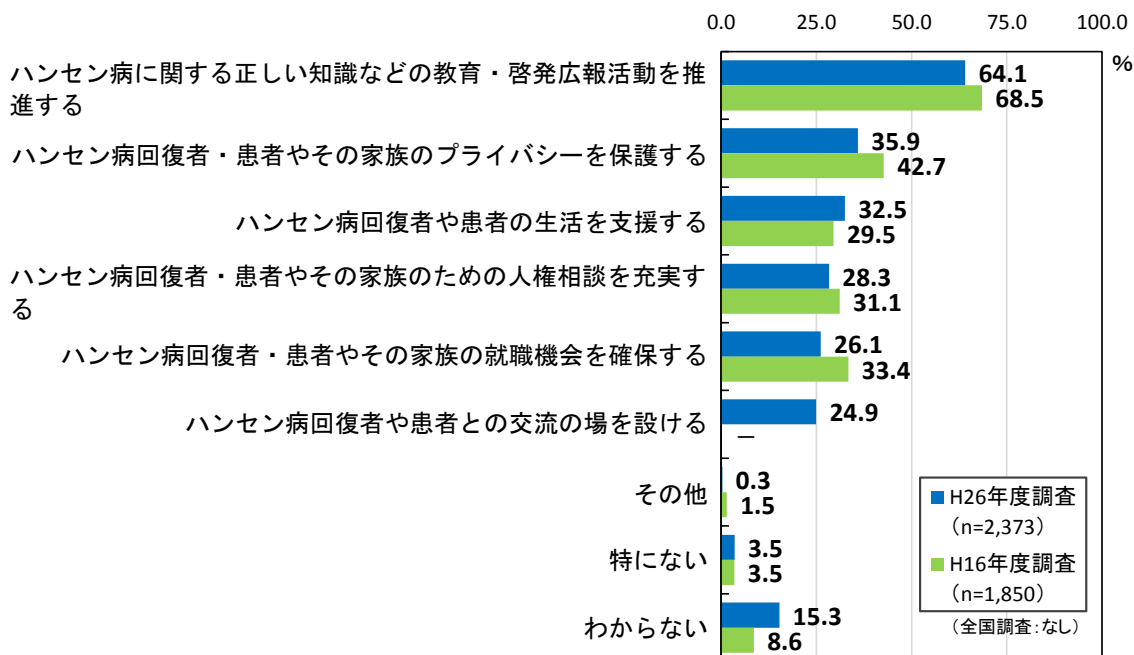
ハンセン病回復者・患者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

問 24

ハンセン病回復者・患者やその家族の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。

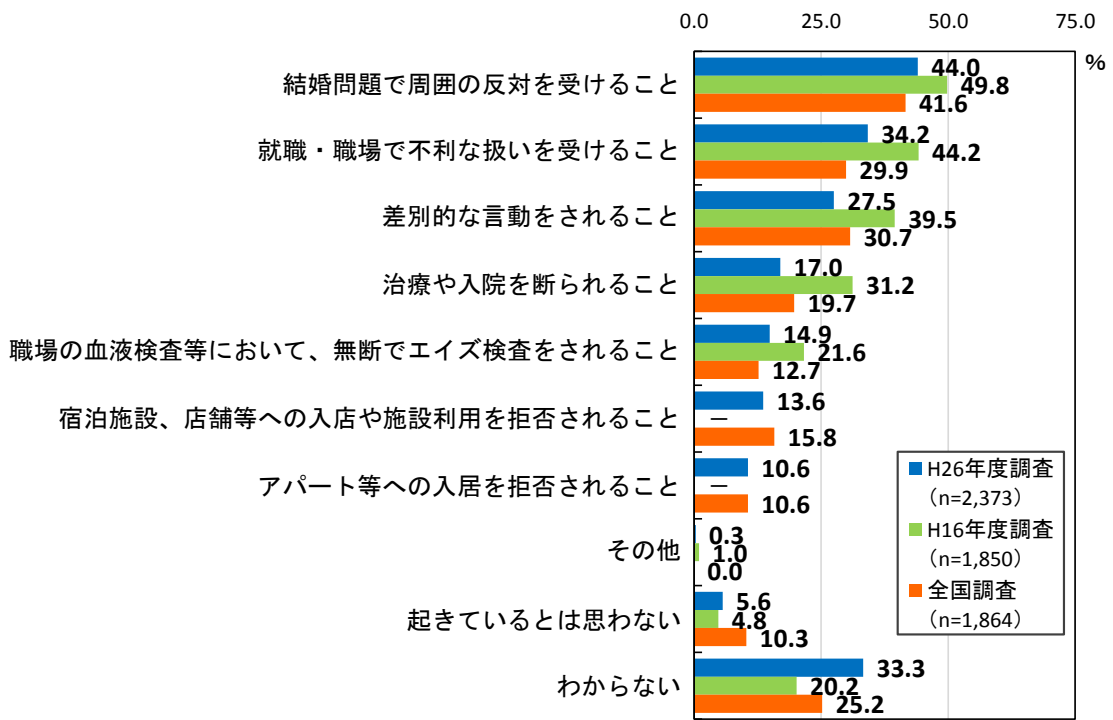


※複数回答

10 HIV感染症・難病等をめぐる人権について

問 25

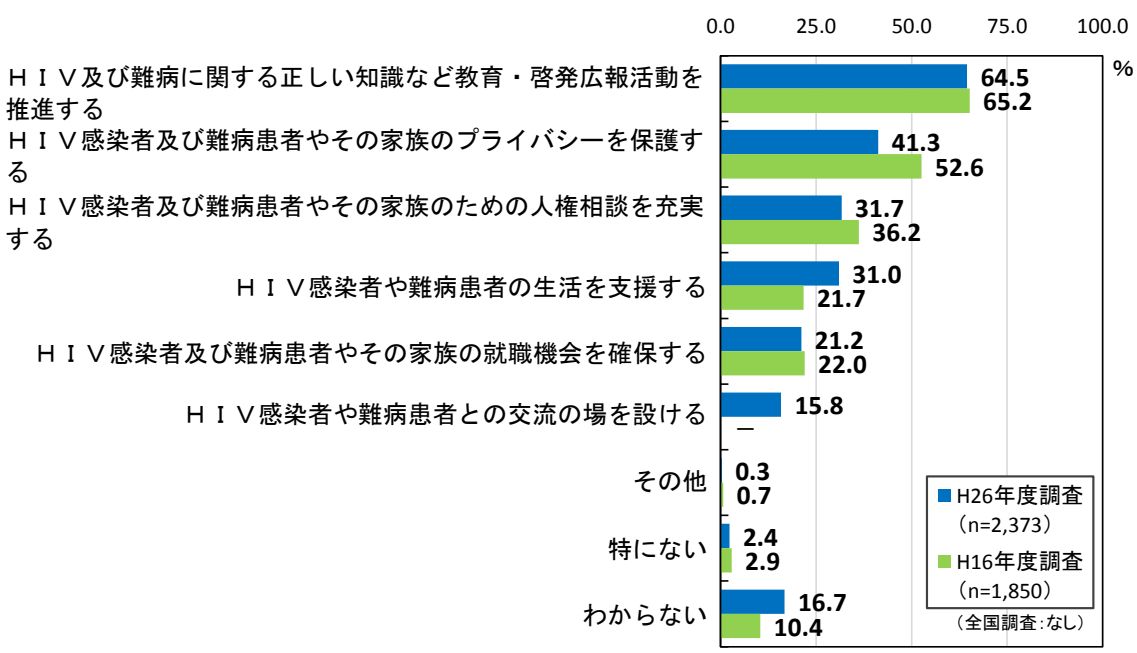
HIV感染者（エイズ患者を含む。）及び難病患者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

問 26

HIV感染者（エイズ患者を含む。）及び難病患者やその家族の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。



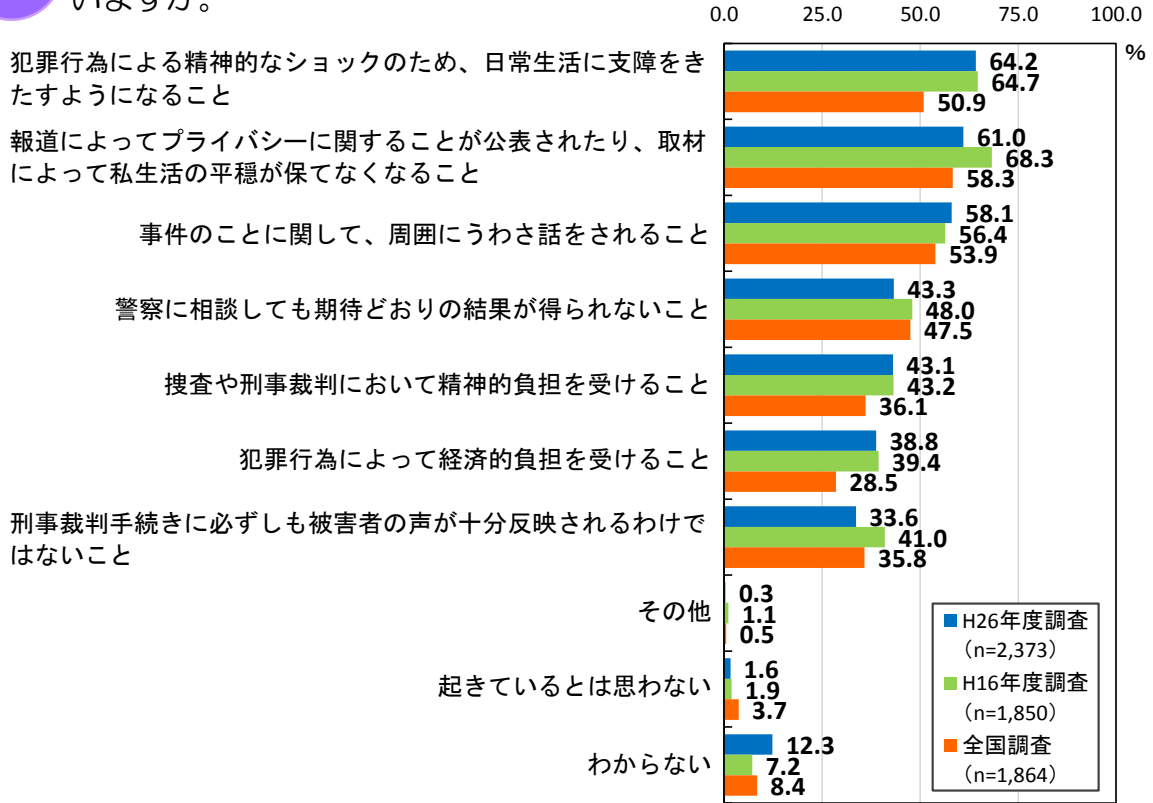
※複数回答

※前回調査（H16年度）及び全国調査は、HIV感染者についての設問であるが、今回調査（H26年度）は、HIV感染者と併せて難病患者についての設問としている。

11 犯罪被害者等の人権について

問 27

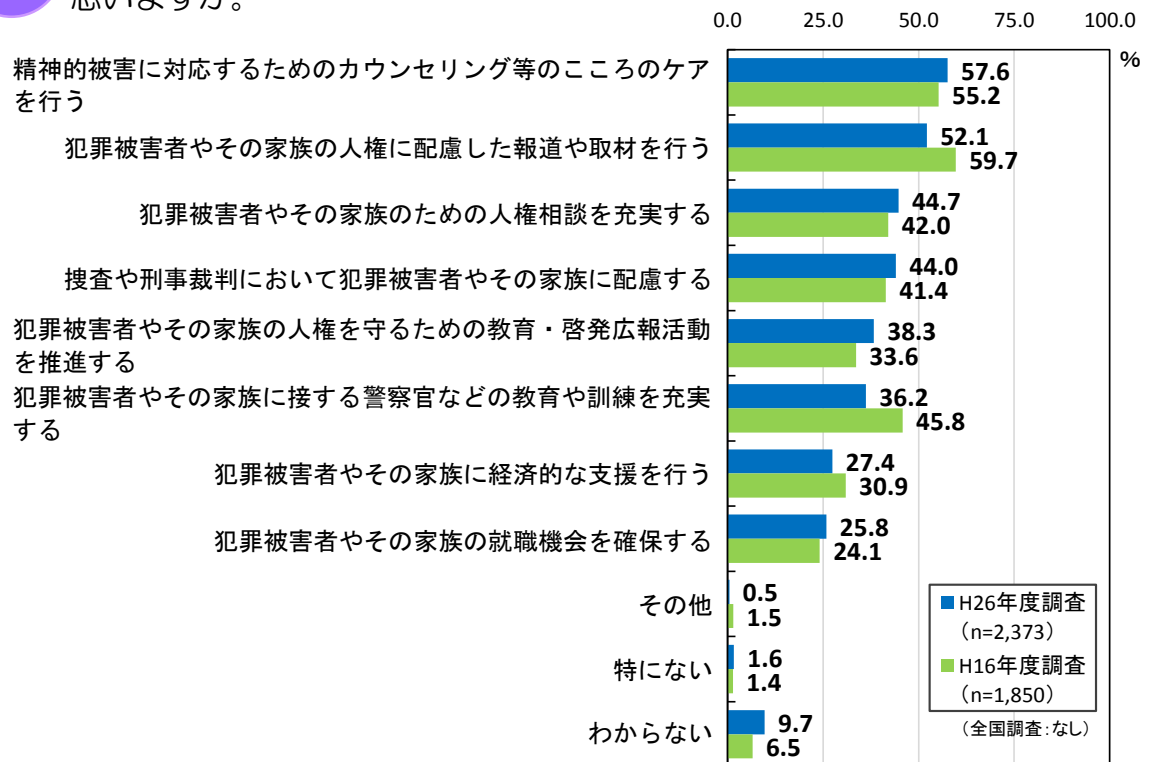
犯罪被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

問 28

犯罪被害者やその家族の人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。

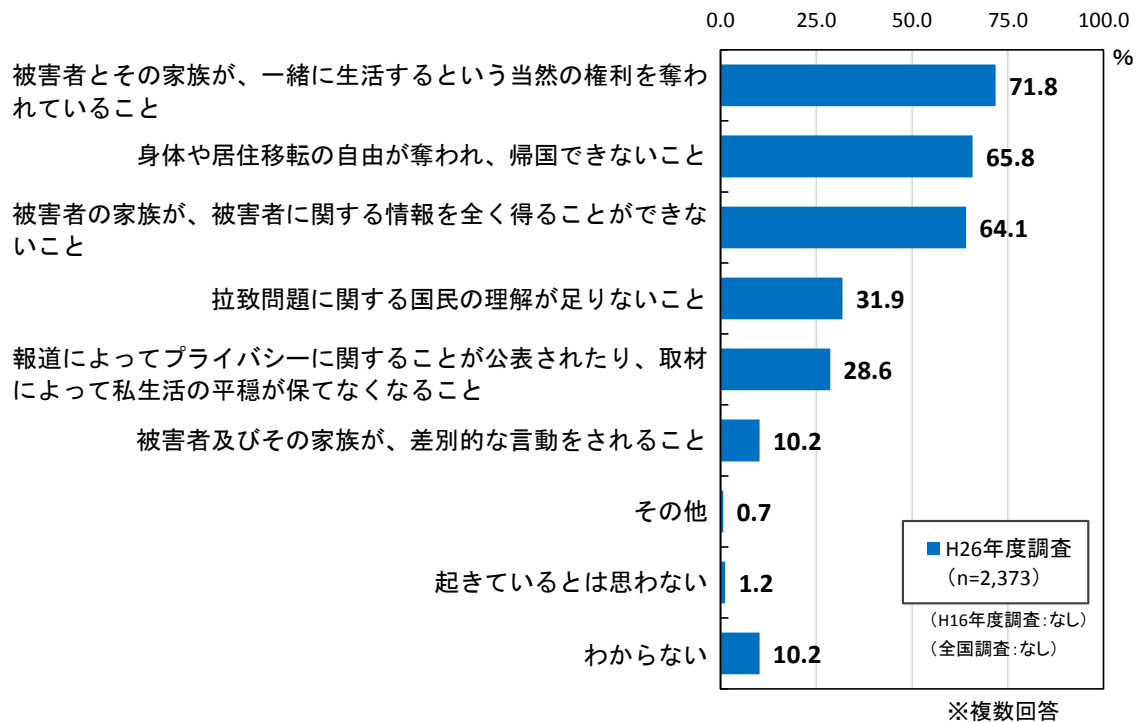


※複数回答

12 拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害について

問 29

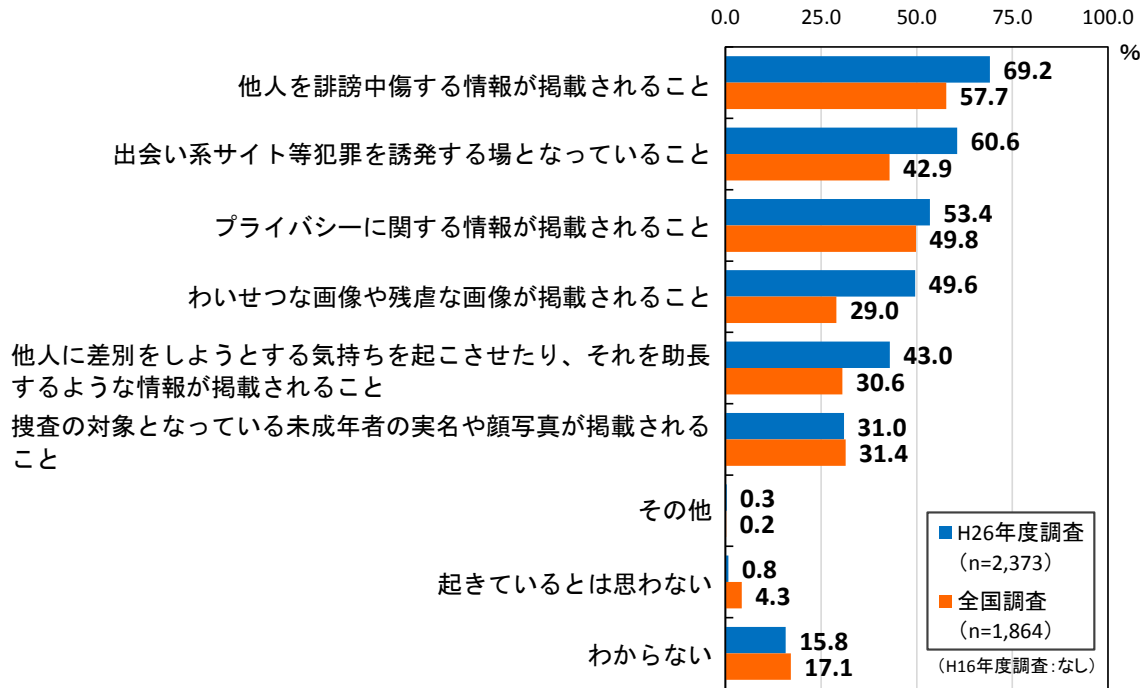
北朝鮮当局によって拉致された被害者やその家族に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



13 インターネットによる人権侵害について

問 30

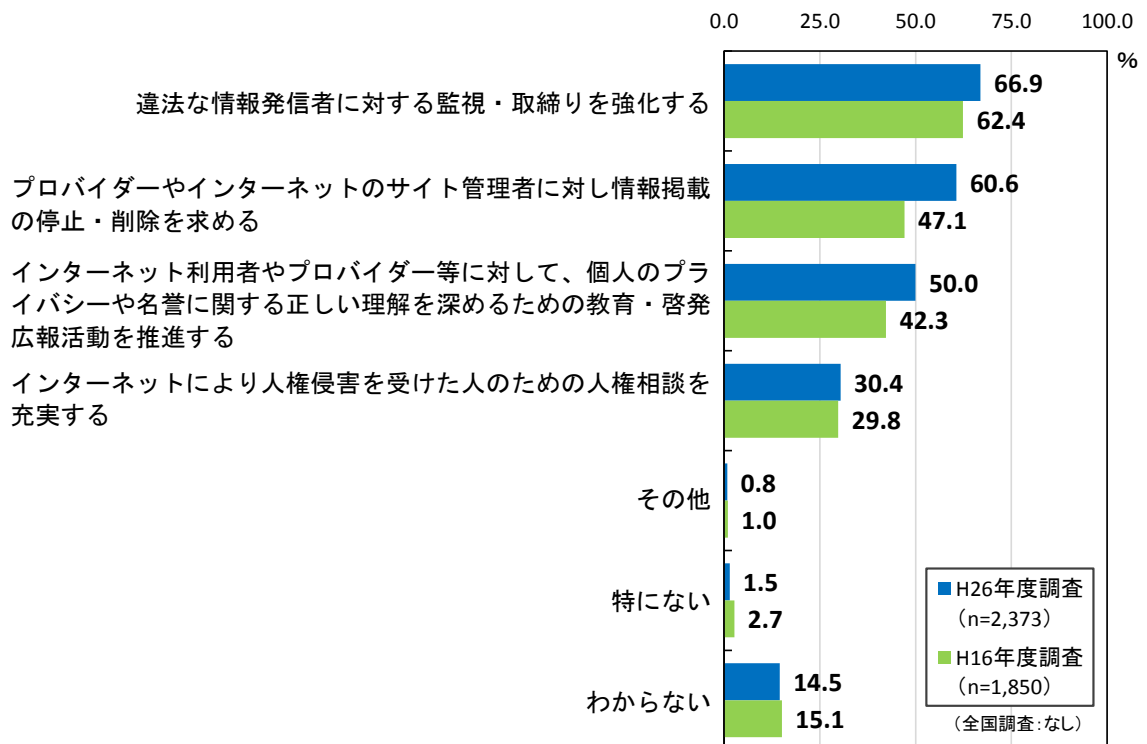
インターネットによる人権侵害に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



※複数回答

問 31

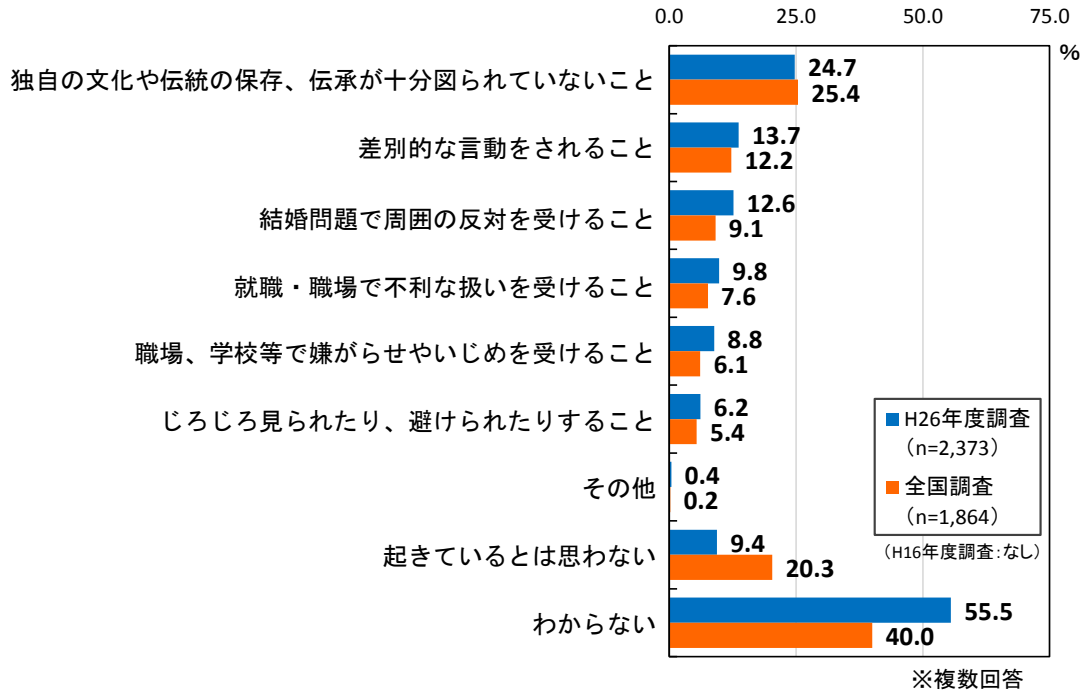
インターネットによる人権侵害を解決するために必要なことはどのようなことだと思いますか。



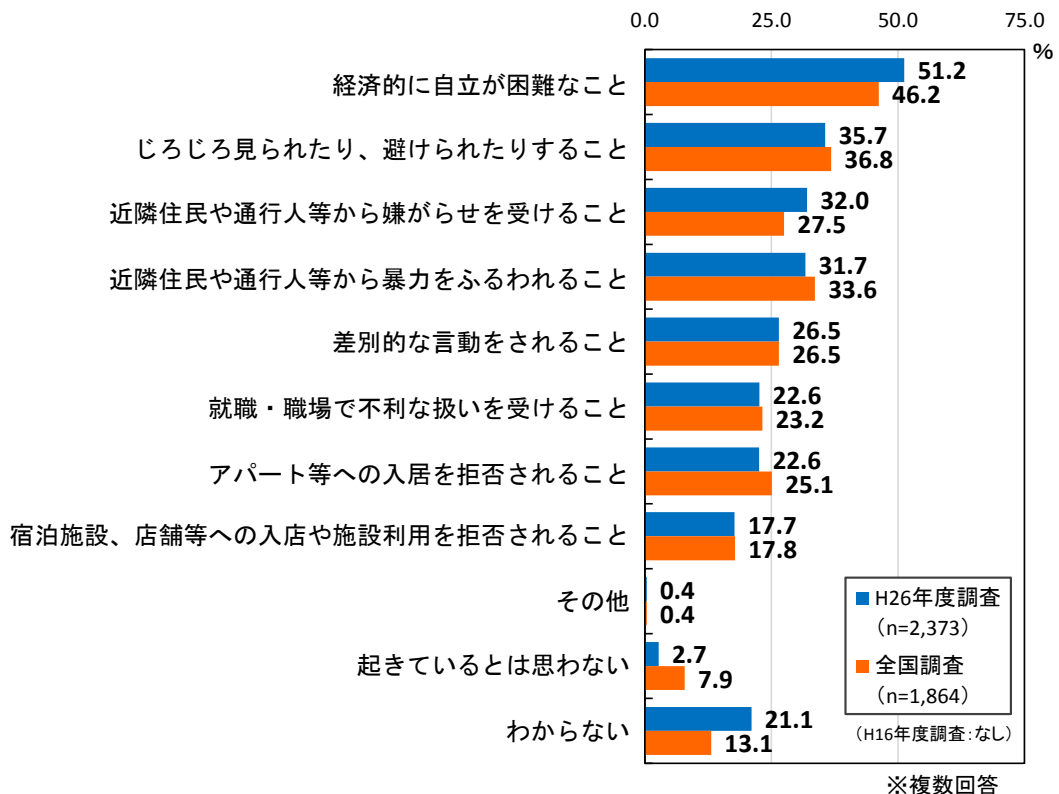
※複数回答

14 様々な人権課題について

問 32 アイヌの人々に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。

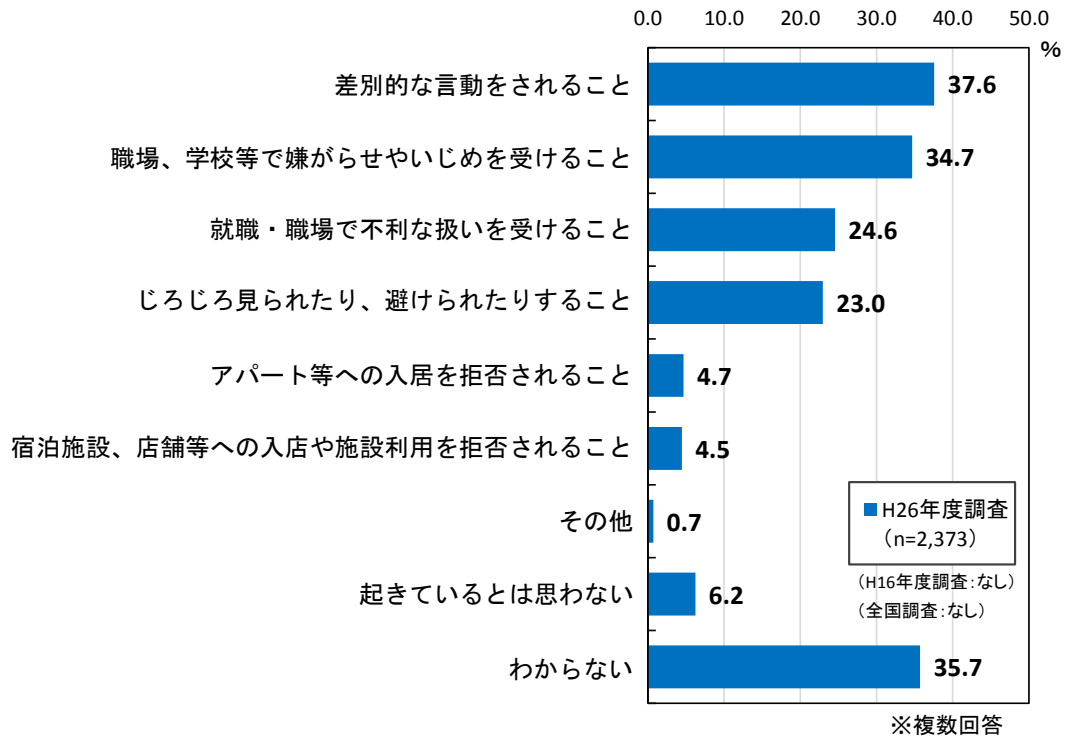


問 33 ホームレスに関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



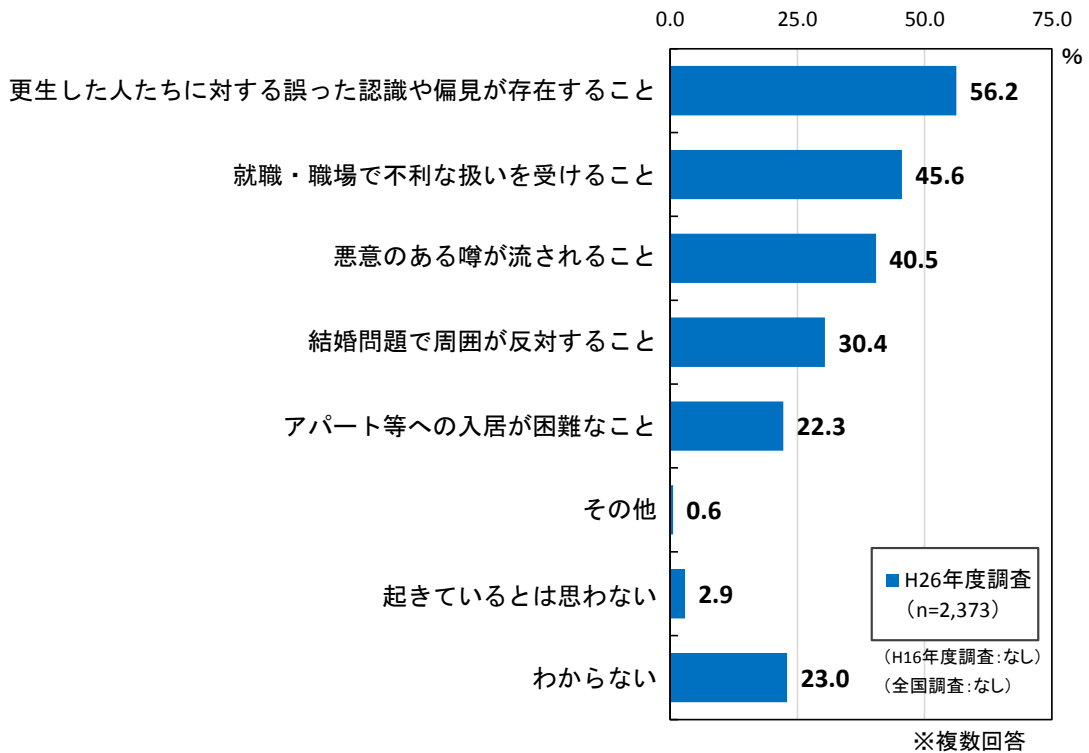
問 34

「からだの性」と「こころの性」が一致しない性同一性障がいや同性愛、両性愛といった性的指向に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



問 35

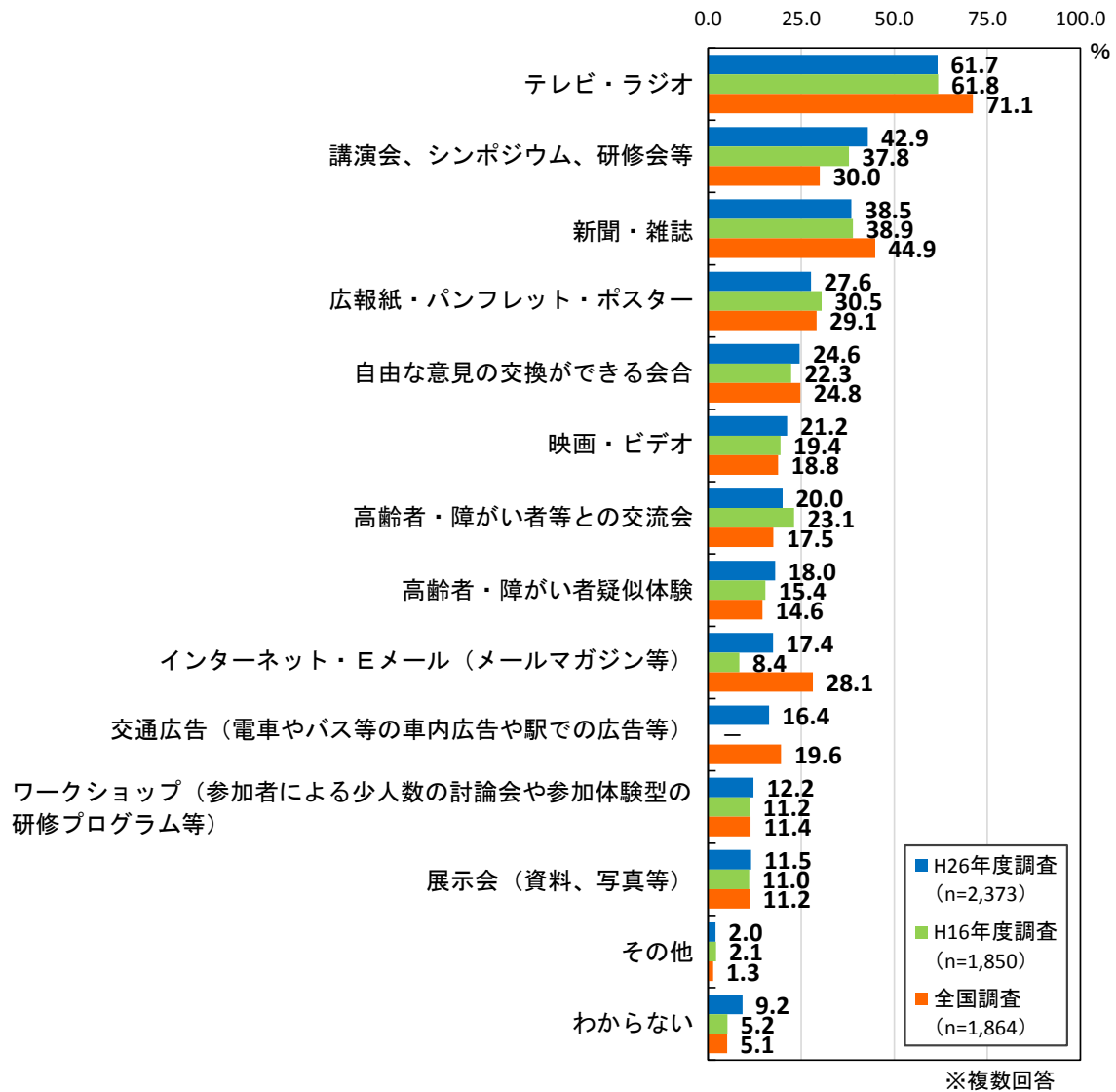
刑を終えて出所した人等の人権に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。



15 人権に関する啓発活動について

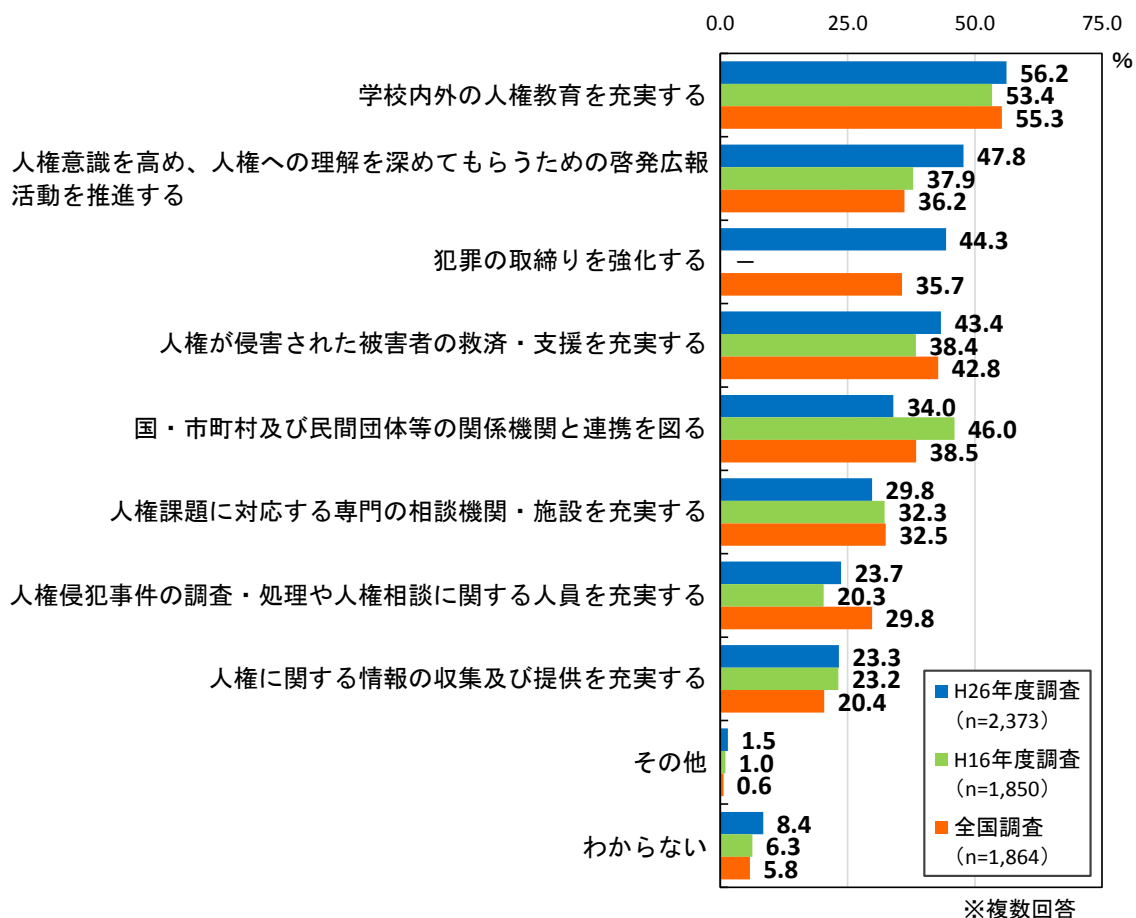
問 36

人権意識を高めるためには、どのような啓発広報活動が効果的だと思いますか。



問37

今後、人権課題の解決に向けて、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。



発行者：熊本県
所属：人権同和政策課
発行年度：平成26年度